

大木製菓有限公司 -彩菓庵おおき・芋屋初代仙次郎-



[創業年] 1934年(昭和9年)
 [売場面積] 129.3㎡(39.2坪)
 ※本支店合計
 [事業従事者数] 16.0人※本支店合計
 [営業時間] 9:00~19:30
 [定休日] なし

[商品構成]
 ・和菓子、芋菓子 100.0%

[店舗所在地] 埼玉県上尾市平方 1855
 [URL・SNS] <https://www.saikaan-ooki.com/>

[経営理念]

～ありがとうの気持ちと笑顔のために～

お菓子を「まごころ」を込めてつくり「おもてなし」の心をもって販売しお客様が「笑顔」になって「ありがとう」と言ってもらえるようなお店・お菓子を創ります。そして、私たちも「笑顔」になって「ありがとう」の気持ちをお客様とそして仲間と共に共有していきます。

1. ありがとうの気持ちをお菓子に込めてつくり、笑顔とおもてなしの心で販売することで人々に感動を与え、世の中に笑顔を広めていきます。
2. 日本の四季を彩るお菓子を創るとともに、新しいニーズに合った斬新で美味しいお菓子づくりに挑戦し続けます。
3. 安全・安心の基本をもとに「美味しくなれよ」の気持ちを含めてスタッフ一同お菓子をつくりまします。
4. 私たちは、ありがとうの気持ちと笑顔のために、思いやりを持ち、お互いに尊重し、励まし、助け合い、切磋琢磨しながら成長し続けます。

芋菓子を中心に創業者の思いをブランド化

[お店の概要]

昭和9(1934)年、埼玉県上尾市で、さつま芋の菓子の卸売を始める。

その後、小売り店舗を立ちあげ、平成7(1965)年には上尾市の同社本店所在地に「彩菓庵おおき」を開店させた。

平成13(2001)年、デパートなどの催事部門に販路を広げた。平成26(2014)年には、観光地小江戸川越に支店をオープン。更に令和1年(2019年)にさつまいも菓子のブラ

ンド化を進める為に大幅にリニューアルした。

現在は、「彩菓庵おおき」春日本店と「芋屋初代仙次郎」川越本店の2店舗の他、各地での催事で販売を行っている。製造拠点として上尾市内に工場を持つ。



現当主で、4代目。蔵の町として知られる観光地、“小江戸”川越の支店は、創業者の名前、仙次郎から取った。伝統と流行とを兼ね備えたブランド化を進めている。

小江戸と言われる観光地にある
「芋屋初代仙次郎」川越本店

【お店の経営ノウハウ】

現代表が就任した平成 22 (2010) 年以降、経営の見直しを行った。経営方針を明確化し、従業員の声を聞き、長時間労働の解消など待遇改善を行うとともに、生産効率を高めた。現在は、生産拠点としての工場、販売拠点としての春日本店に加え、観光地の川越の支店との間で、スタッフ間の意志疎通を図るなど連携を強化。さつま芋菓子を中心に現代にあった菓子のブランド化を進め、工場での効率の良い製造とともに各店舗の販売計画を設定している。

春日本店では 30~40 代にターゲットを絞ったさつま芋スイーツを展開。一方でリニューアルオープンした川越店は、食べ歩きができるようにテイクアウト商品として多様なさつま芋チップス、ソフトクリームなど川越ブランドを推進している。

外部のアドバイスを取り入れ、様々な補助金を活用した自動包装機、小型オーブン、デジタルサイネージ、ソフトクリームサーバーなど経営改革を進める。

令和 1 (2019) 年以降の新型コロナウイルスによる影響がとくに川越店に出たが、同社の原点のさつま芋のブランド化を進めていたことが功を奏し、特性が違う販売チャンネルがあったことで、乗り切ることができた。

食べ歩きできるようにと考案された、川越特産を生かしたテイクアウト商品「さつま芋チップス」「川越☆モンブランソフト」

